

オオムギ赤かび病多発の恐れ！

赤かび病は被害粒が10,000粒中に5粒以上混入すると出荷停止になります。赤かび病はムギの開花期頃に高温多雨で多発します。今年は開花期付近の気温は高く雨も多い予想で、赤かび病が多くなる予想です。

1 防除時期

- 3月の高温でオオムギの生育が早くなっています。1回目の防除が遅れないように準備をしましょう。

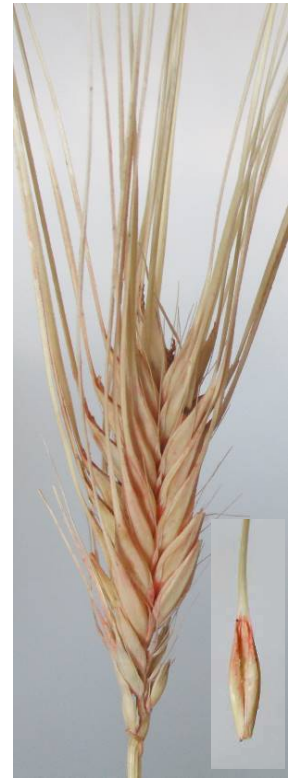
防除
適期

1回目は開花始め（出穂5日後ごろ）
2回目は1回目の10日後です。
必ず2回防除を行ないましょう

注：小麦は3回防除が必要です

- 圃場をこまめに巡回しムギの開花状況を確認しましょう。
- 感染後の散布では効果が劣るので適期防除に努めましょう。
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなります。
- 今年は積雪量の違いから、いつもより地域で生育差があります。管内の普及事務所やJAに確認をとり、防除のタイミングを間違えない様にしましょう。
- 液剤の散布量は10a当たり100L散布します（無人ヘリ散布を除く）。粉剤は穂が濡れている早朝に散布すると効果が高くなります。】

2 防除薬剤



農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

農薬の飛散に注意しよう

薬剤名	登録作物	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数	散布方法
トップジンM粉剤DL	麦類（小麦を除く）		4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内 （出穂期以降は1回）	散布
トップジンM水和剤		1000～1500倍	60～150L/10a	収穫30日前まで		散布
トップジンMゾル		無人ヘリ8倍	0.8L/10a	収穫21日前まで		無人航空機による散布
トリフミン水和剤	麦類	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	麦類（小麦を除く）	2000～3000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25	大麦	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回	散布
		無人ヘリ8倍	0.8L/10a	収穫21日前まで	1回	無人航空機による散布
ワークアップ粉剤DL	麦類		3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	麦類	無人ヘリ10～24倍	0.8L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布
シルバキュアフロアブル	大麦	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ16倍	0.8L/10a	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機による散布

☆最新の農薬登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt11p301.jsp>)を確認して下さい。